

会派の主張

（本会議の
質問など）

三面から六面の内容は
各会派が責任をもって
掲載しています。

自由民主党

代表質問 木村 芳浩 個人質問 横田 信一

**コロナウイルスへの不安払拭にむけて、力強いメッセージを発信せよ！
森林を守り、防災力の向上を！**

―新型コロナウイルス

―感染症について―

問 新型コロナウイルス感
染症については、令和元年
十二月以降、中国武漢市を
中心に発生し、短期間で世
界中に広がり、未だおさま
りを見せておらず、本市に
おいても感染者が発生し、
市民の不安が高まっている
状況である。また、新型コ
ロナウイルスに感染するこ
とを避けるために外出を控
える方が増えており、市内
の宿泊業や飲食業において
は顕著な影響が出ていると
ともに、製造業においても
中国からの部品調達ができ
なくなつたことで、生産が
停止したとの声も仄聞して
いる。そのような中、市長
は三月三日に内閣総理大臣
に対し、中小企業支援とし
て、融資を受けている企業
について、一年間、元本返
済を猶予する措置を講じる

ことなどの緊急要望書を提
出した。具体的な対策につ
いても踏み込んだ要望であ
り、一定の評価をするが、
中小企業の経営者はもとよ
り、そこで働く方も含め、
市民の生活面での不安は計
り知れないが、今回の感染
症対策における市長の決意
を問う。

市長 市内在住者の感染が
判明したことを受け、市民
の方に向けたメッセージを
ウェブサイ
トに掲載す
るとしても
に、不要不
急の外出を
控えていた
だくこと
や、SNS
等での誤つ
た情報に感
わされな
いよう冷静な
行動をお願い

令和五年度までに、児童生徒へ一人一台のタブレット
型パソコンの整備を行う



いしている。また、市内企
業やその従業員については、
経済活動の停滞により、経
営面や生活面での不安を抱
えているため、ウェブサイ
トや中小企業だよりなどで
必要な情報を速やかに提供
している。今までにない感
染症の拡大という事態に、
市として全力で対処できる
よう、市民の安全安心のため
に、引き続き強いリーダー
シップを発揮していく。

―GIGAスクール構想
について―

問 市長は市政運営方針に
おいて、グローバルな視野
を持ち主体的に行動できる
人材の育成を目的として、
国のGIGAスクール構想
に沿って、小中学校の児童
生徒一人ひとりに学習者用
タブレット型パソコンの整
備を進めていくと掲げてい
る。今回のGIGAスクー
ル構想に沿った環境整備を
行うことで、試算では令和
五年度の事業完了までに、
累計四十億円以上の予算を
使うことになるが、これら
の活用と効果を、本市の教
育施策の充実にとどのよう
につなげていくのか。

学校教育部長 授業の中で
児童生徒がICT機器を活
用することで、情報活用能
力の育成を図っていくこと
にも、各教科等の授業にお

いて、調べ学習や思考を深
める学習、意見整理など、
様々な学習場面で効果的に
活用することで、新学習指
導要領で求められる、主体
的・対話的で深い学びの実
現につなげ、子どもたちの
確かな学力の育成を図る。

―東大阪市森林環境譲与税
基金条例について―

問 森林環境税及び森林環
境譲与税は、温室効果ガス
排出削減目標の達成や災害
防止等を図るための森林整
備等に必要なる財源を安定的
に確保する観点から、国民
一人一人が等しく負担を分
かち合せて森林を支える仕
組みとして平成三十一年三
月に森林環境税及び森林環
境譲与税に関する法律が成
立、公布された。費用の使
途として、都道府県では、
森林整備を実施する市町村
の支援等に関する費用、市

町村であれば、間伐や人材
育成・担い手の確保、木材
利用の促進や普及啓発等の
森林整備及びその促進に関
する費用に活用される。森
林を守ることに、森林維持、
森林対策は、森林環境税、
森林環境譲与税が成立され
た目的でもある地球温暖化
対策、ひいては、防災対策
にも寄与するものであり、
関係部局にまたがった横断
的な体制が必要と考えるが
当局の見解を問う。

公明党

代表質問 山崎 毅海 個人質問 松川 啓子 個人質問 安田 秀夫

**「誰ひとり取り残さない」共に助けあう社会の構築を！
ICT教育の推進・ひきこもり受付窓口の一元化を！！**

―SDGsの取り組み・
発信について―

問 自治体におけるSDG
sの達成に向けた取り組み
は、地方創生の一端を担う

ものであり、その取り組み
を推進することが必要であ
ることから、「SDGs未来
都市・自治体SDGsモデ
ル事業」に応募するなど、

市としての積極的な姿勢を
市内外に示すべきではない
かと考えるが見解を伺う。
市長 今後作成を予定して
(次頁へつづく)